



2025年3月19日

帝人ファーマとジェイ・エム・エスによる合弁会社 「JMS 帝人ホームメディカルケア株式会社」の設立と事業開始について

帝人ファーマ株式会社
株式会社ジェイ・エム・エス

帝人ファーマ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：種田 正樹、以下「帝人ファーマ」）および株式会社ジェイ・エム・エス（本社：広島市中区、社長：桂 龍司、以下「JMS」）は、患者さんが望む在宅での透析治療を実現するため、主に腹膜透析関連事業を展開する合弁会社「JMS 帝人ホームメディカルケア株式会社」を設立し、2025年4月1日より事業を開始します。

1. 背景・経緯

- (1) 慢性腎臓病が進行した患者さんは腎代替療法の一つである、血液透析や腹膜透析などの透析治療を行います。透析患者さんの多くは、週に3回ほど医療機関へ通院し、1回あたりに4~5時間程度の血液透析を行っています。しかし、頻回の通院は負担が大きく、自宅で患者さんのライフスタイルに合わせた透析治療を行うことが可能な腹膜透析への関心が高まりつつあります。
- (2) 在宅医療関連の事業基盤を有する帝人ファーマと、透析治療のパイオニアであるJMSは、医療者や透析患者さんの腹膜透析のニーズに応えるため、2024年5月に在宅腎不全治療に特化した合弁会社の設立に向けた契約を締結しました。
- (3) その後、両社は経営体制の整備を進め、2024年10月に合弁会社を設立。そして、両社の経営資源やノウハウを組み合わせた組織体制を確立し、2025年4月1日に事業を開始するに至りました。

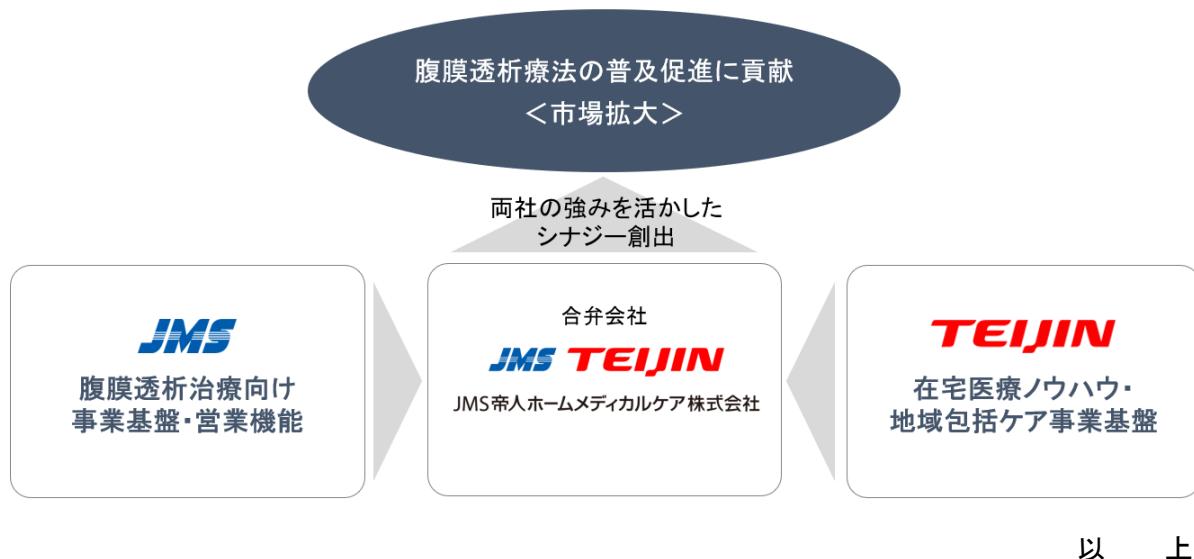
2. 設立した合弁会社について

- (1) 合弁会社は、帝人ファーマが51%、JMSが49%の割合で出資し、両社が全株式を所有します。合弁会社は、JMSの腹膜透析事業に関する営業機能と、帝人ファーマがこれまで築いてきた在宅医療事業のノウハウや地域包括ケア関連の事業基盤を活用することで、両社のシナジーの創出を目指します。
- (2) 合弁会社は、医療機関に対して腹膜透析関連製品の情報提供や販売促進を行います。その後、段階的に販売・製造等の機能拡大を図り、2030年に売上高40~50億円を目指します。

3. 合併会社概要

会社名	JMS帝人ホームメディカルケア株式会社
本社所在地	東京都港区芝浦一丁目2番1号 シーバンスN館 11F
設立日	2024年10月1日
事業開始日	2025年4月1日
代表者	代表取締役社長 豊蔵 学 代表取締役副社長 末田 穩
資本金	1億円
出資の状況	帝人ファーマ株式会社 51% 株式会社ジェイ・エム・エス 49%
事業内容	腹膜透析関連の医療機器・医薬品の販売促進・マーケティング等
公式ホームページ	https://www.jms-teijin.co.jp

4. 合併会社の事業構想



【当件に関するお問合せ先】

JMS帝人ホームメディカルケア株式会社 営業部 TEL: (03) 6372-9135
(2025年4月1日以降ご利用いただけます)

【報道関係のお問合せ先】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055
株式会社ジェイ・エム・エス 経営戦略室 経営企画グループ TEL: (082) 243-9059